

令和6年度 東京海洋大学基金 活動報告書

東京海洋大学基金

海洋、その先の未来へ
皆様のご寄附が、海洋の未来を拓きます

学長挨拶

皆様には、常日頃より東京海洋大学に温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

東京海洋大学では、「海を知り、海を守り、海を利用する」をモットーとして、我が国が海洋立国として発展し続けるために中心的な役割を果たす研究者や高度専門職業人の育成を行っています。その歴史において、平成23年に設置された「東京海洋大学基金」によって学生への修学支援、教育研究や課外活動への支援、さらに明治丸や雲鷹丸を始めとするミュージアム関連事業等を実施することができました。改めまして、心から感謝申し上げます。

本学では、令和6年度から4学期制・105分授業を全学的に導入しました。この改革によって夏季休業期間を以前より長く確保し、学外学修（海外留学、中長期インターンシップなど）の充実や、拡大した授業時間を用いたアクティブ・ラーニングの導入など、多様な授業展開が可能となりました。

グローバル人材育成については、「日・北欧連携 国際協働教育『海洋の未来を創造する高度専門技術者』養成プログラム（通称：METISプログラム）」を開始し、北欧の大学と共に、海洋産業の生産性向上と活性化、海洋を巡る地球規模の諸課題解決に向けた教育プログラムを実施しています。

近年重要度を増しているAI・データサイエンス教育については、文部科学省の支援による卓越大学院プログラムを新たに「海洋AI・データサイエンス学位プログラム」と位置づけ、専攻の枠を超えた教育を実施しています。

起業によって社会的課題を解決したいと考える学生に対しては、海洋アントレプレナーシップ養成プログラムを提供しており、プロジェクト立ち上げに関する教育を行うとともに、ビジネスプラン・コンテストを実施しています。

本学は経済的に困窮する学生達だけではなく、積極的に学修に取り組み、未来を支える人材となることを目指す学生達も支援していきたいと思っています。そのためには、「東京海洋大学基金」を継続・発展させていくことは必要不可欠であると考えております。今後とも皆様方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



国立大学法人東京海洋大学長

井関俊夫

Message



特命理事 小波 豊

特命理事・副学長（産学連携・イノベーション創出担当）からのメッセージ

本学では、経済的理由により修学が困難な学生を支援するため、平成28年11月に「修学支援事業基金」を設置し、これまで多くの皆様方からご支援いただいたご寄附をもとに、学生への経済的支援を実施してまいりました。

（独）日本学生支援機構において修学支援新制度が拡充され、本学でも対象者が増えるなどしましたが、令和6年度においては、経済的理由により修学が困難な学生8名に総額80万円の支援を行うことができました。いただいたご寄附に対して改めて感謝申し上げますとともに、今後も温かいご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。どうもありがとうございました。

事業概要

東京海洋大学基金は、本学における教育研究、国際交流及び社会連携に関する活動等の推進を図るとともに、教育研究環境の整備充実に資することを目的としています。

東京海洋大学基金寄附メニュー

A：一般基金

目的指定をせず、大学全体のために活用させていただいています。

B：プロジェクト基金

目的を指定して、各プロジェクト活動の推進のために活用させていただいています。

- ▶ 大学プロジェクト（大学ビッグプロジェクト支援）
- ▶ 修学支援プロジェクト【修学支援事業基金】（税額控除対象）
- ▶ 研究等支援プロジェクト【研究等支援基金】（税額控除対象）
- ▶ グローバル教育支援プロジェクト
- ▶ 学部・研究科等プロジェクト
 - ◇海洋生命科学部 ◇海洋工学部 ◇海洋資源環境学部 ◇海洋科学技術研究科（大学院）
- ▶ 課外活動等プロジェクト
- ▶ その他特定事業プロジェクト
 - ◇明治丸海事ミュージアム事業
 - ◇マリンサイエンスミュージアム事業（雲鷹丸修復事業含む）
 - ◇附属図書館整備充実 ◇海洋生命科学部及び海洋資源環境学部学術研究奨励基金
 - ◇海洋AI・データサイエンス学位プログラム教育基金
 - ◇水圏科学フィールド教育研究センター保全支援基金
 - ◇海洋工学部国際交流基金 ◇本学練習船による海洋人材育成支援事業基金



寄附メニュー

収支報告【令和6年度】

受入額

皆様からの温かいご支援により、多額のご寄付をいただきました。
ご支援をいただきました皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

受入件数 311件

受入総額 135,629,942円

寄附者区分	件数	寄附金額（円）
法人・団体	14	103,691,789
個人	297	31,938,153
合計	311	135,629,942

基金支援事業支出報告

皆様方から賜りましたご寄附は、ご寄附の目的に沿って、各支援事業に活用させていただきました。

支出総額 36,803,968円

支援事業	執行額（円）
学生の修学支援	15,687,591
学術資料の収集・管理等	7,447,565
その他目的達成に必要な事項	13,668,812
合計	36,803,968

※「大山孝勇研究奨励基金」受入金額を含みます。

※※令和6年度収支差額 98,825,974円については、次年度へ繰越させていただきました。

主 な 活 動 報 告

学生の修学支援 支援額 15,687,591円

修学支援事業

800,000円

修学支援事業とは経済的理由によって授業料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる学生に、授業料相当の学費の一部を支援するための奨学金給付です。

令和6年度は学資支給事業として、学部生6名、専攻科生1名、大学院生1名、合計8名の学生に支援給付することができました。

【支援額】 8名×100,000円

学部・研究科等プロジェクト支援事業

14,887,591円

特定の学部等へご支援いただいたプロジェクトにおいても、学部等独自に学生の修学支援事業に活用させていただいております。

◇ 海洋生命科学部・海洋資源環境学部

学生への支援としてサークル活動や海鷹祭への補助をするなどの支援や、学生交流会などへの支援を行うことができました。また、海洋資源環境学部における海外派遣研修への支援を行うことができました。

【支援額】 2,818,873円

◇ 海洋工学部

学生への支援としてサークル活動や海王祭への補助をするなどの支援や、成績優秀学生や課外活動団体を表彰するなどの支援を行うことができました。また、PROGテストを1年生及び3年生に実施する支援ができ、ジェネリックスキルの測定、育成状況を判断することができました。VELCテストについても1年生に実施する支援を行うことができ、アカデミックな英語スキルを測定、育成状況を判断することができました。

【支援額】 3,428,718円

◇ 三輪正人育英会奨学基金（海洋工学部）

学生・院生への奨学金として、学部生2名、大学院生5名に支援することができました。

【支援額】 8,640,000円

◇ 令和6年度においても基金により、「大津皓平文庫」の整備充実をすることができました。授業指定図書・シラバス掲載の教科書、教員の選定する専門性の高い資料、洋書など整備するとともに和洋電子書籍の充実を図っています。

＜附属図書館越中島分館＞

【支援額】 1,434,265円



◇ 附属図書館の整備充実のために、学生用図書・電子書籍の充実に活用させていただきました。各教員からの推薦、学生からのリクエスト図書（電子書籍、視聴覚資料を含む）を整備することができました。

【支援額】 496,884円

◇ 株式会社洋星 代表取締役 樋口信高様から京都銀行SDGs私募債『未来にエール』を通じて、授業の指定テキストや学生からリクエストのあったものを中心に、図書を寄贈いただきました。



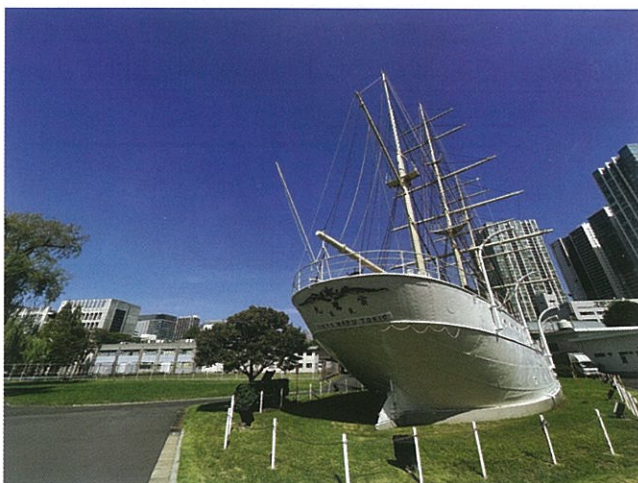
◇ 登録有形文化財「雲鷹丸」の定期保全修理工事に使わせていただきました。

【支援額】 4,211,761円

◇ 重要文化財「明治丸」の修復及び維持管理のために使わせていただきました。

※重要文化財「明治丸」「百周年記念資料館」「明治丸記念館」の観覧については明治丸海事ミュージアムのホームページをご覧ください。

【支援額】 1,304,655円



支援いただいた学生の声



<修学支援事業>

この度は就学支援事業基金奨学金において支援をいただきありがとうございます。皆様のおかげで充実した大学生活を送り有意義な時間を過ごすことができます。本当にありがとうございます。
今後はより一層授業や課外活動に熱心に取り組み、支援をいただいた方へ様々な形で恩返しができるように努めていきたいと思っています。（海洋生命科学部1年生）

この度は東京海洋大学修学支援事業基金奨学金のご給付誠にありがとうございます。
東京海洋大学という恵まれた学舎において学べることを最大限に学び、日本の水産の発展に貢献できる人間になります。（海洋生命科学部1年生）

このたびは、「国立大学法人東京海洋大学修学支援事業基金奨学金」に採用していただき、心より感謝申し上げます。多くの方々のご寄附によって成り立つ本奨学金を受給できることを、大変ありがたく思っております。経済的な支援をいただけることで、学業に専念できる環境が整い、より一層努力しようという気持ちが強まりました。

今後は、これまで以上に学業に励み、専門知識を深めることはもちろん、社会に貢献できる人材となることを目指して精進してまいります。また、奨学金を支えてくださる方々の想いを胸に刻み、将来的には自分自身も後進の支援ができるよう努めてまいります。本奨学金の給付にご尽力いただいた関係者の皆様、寄附をしてくださった皆様に心より御礼申し上げます。このご恩を忘れることなく、学業と自己研鑽に励み、有意義な大学生活を送りたいと思います。（海洋工学部1年生）

この度は、貴重なご寄付を賜り、心より感謝申し上げます。皆様からの温かいご支援のおかげで、私は学業に専念することができ、将来の夢に向かって一步一步前進することができています。私自身、この奨学金を受け取ったことで、経済的な負担を軽減し、より充実した大学生活を送ることができております。学びの機会を与えてくださったことに深く感謝するとともに、この恩に報いるためにも、日々の勉学に励み、社会に貢献できる人材となることを誓います。本当にありがとうございました。

将来は、日本の発展を支える技術者として貢献できるよう、日々の学びを大切に、社会に役立つ人材を目指して努力していく所存です。（海洋工学部4年生）

この度は修学支援事業基金奨学金を給付していただき、誠にありがとうございます。最近の物価上昇により学費や生活費の負担が大きくなる中で、この奨学金の支援はとても助けになります。ご支援によりアルバイトに追われることなく、学業や研究にしっかりと取り組むことができます。

現在、私は海洋の気候変動について研究しており、気候変動の影響が深刻になる中でこの研究の重要性を感じています。今後は大学院に進学し、より専門的な知識を深めこの分野に貢献できるよう努力を続けていく予定です。こうした学びの機会を得られるのも、皆様の支援のおかげです。改めて心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。（海洋資源環境学部4年生）

このたびは、修学支援事業基金奨学金を給付していただき、心より感謝申し上げます。私はこれまで、海洋における風の推定に関心を持ち、学業に励んでまいりました。しかし、大学院進学にあたり、経済的な負担は大きな課題でした。そのような中で、この奨学金のご支援をいただけることは、私にとって大きな励みであり、学びを深める貴重な機会となります。この奨学金は、多くの方々の温かいご支援によって成り立っていることを忘れず、感謝の気持ちを持って研究に取り組んでまいります。支えてくださる皆様の期待に応えられるよう、日々精進していきます。本当にありがとうございます。（海洋資源環境学部4年生）

**支援をいただいた学生たちの声は、この他にも多数届いております。
皆様のご支援のおかげで、多くの学生に手を差しのべることができました。**

寄附者からのメッセージ

皆様からは金銭的なご支援だけではなく直接いただく「お声」が東京海洋大学の活動、学生の励みとなっています。

◇海洋大生、世界へ羽ばたけ！！

◇次世代エンジニアの育成、よろしくお願い致します。

◇将来の日本を支えていく学生の方々が、学業に少しでも専念できる環境に身を置けるように、微力ながら支援させていただきたいと思います。

◇本日の学長の入学式のご挨拶に感銘を受けました。貴学の今後の研究に保護者のみならず国民として心から応援申し上げます。

◇生活苦しい生徒さんに応援したいです。自信を持って頑張ってください。

◇頑張っている学生の方々へ微力ながら応援しています。

◇学生さん達が希望を持って勉強に打ち込めることを願っています。

◇学業・サークル活動・就職支援等、充実した環境で楽しんでいる子供の様子を見ることができ感謝しております。今後もこういった環境が続くよう応援しております。

◇水産学への夢を追い、未来を切り拓くために学ぶ皆さんを応援します。海洋大学での学びへの情熱と努力は、きっと未来の社会を照らす大きな光となります。学生の皆さんが、それぞれの目標に向かって力強く歩み続けられるよう、心から応援しています。困難に直面しても諦めず、自分の可能性を信じ、前進してください。

◇研究成果の結果は長い年月を要します。僅かでも一助になれば、海に囲まれた我が国の未来づくりが海洋大学の使命の一つであることを願っています。

◇海の豊かさを守るため、今後も研究に励んでください！微力ながら応援しております。

◇社会人基礎力を持った若者の育成に少しでも協力できればと思います。国際社会に貢献できる若者の育成のために。

◇亡くなった父の代わりに寄付します。父は苦学して卒業し、世界の海を航海し、瀬戸内海の水先案内人としても活躍しました。

◇同窓会開催時に寄附も募りました。是非又！

◇日本の海洋資源に関係することなので、勉強している若者を応援します。

◇食品生産科学等を通じて海洋等で生かせれば！

◇国にとっても、重要な分野の研究を担われておられますので、今後も応援させていただきたいと思います。

◇娘は卒業しましたがいつまでも海鷹丸、神鷹丸を応援しています。

◇明治丸の保存にお役立てください。

◇明治丸が大好きです。いつもありがとうございます。

◇未永く貴重な財産を維持して下さい。

◇永く残ることを願っております。



ご寄附への謝意

寄附者の皆様に深い感謝の意を込めまして、ご希望いただきました方へは、以下のとおり本学から謝意を表します。

▶ 寄附者芳名録

ご芳名を本学ホームページに掲載し、末永く歴史に刻ませていただきます。

▶ 感謝状贈呈

寄附累計額が10万円以上の皆様に感謝状を贈呈いたします。

▶ 寄附者銘板への掲載

寄附累計額が30万円以上の皆様につきまして、寄附者銘板にご芳名を記し、顕彰させていただきます。

銘板は品川キャンパス(本部管理棟1階玄関ホール)と越中島キャンパス(1号館1階正面玄関ホール)に設置しております。



寄附者銘板 (品川キャンパス R7.10現在)

▶ 「感謝の集い」にご招待

本学が平成23年に「東京海洋大学基金」を設立して以来、一定額(累計30万円)以上の寄附をいただいた方々をお招きして、直接謝意をお伝えする「感謝の集い」にご招待いたします。

お問い合わせ先
東京海洋大学基金
基金渉外室

〒108-8477 東京都港区港南4-5-7
TEL 03-5463-4279 FAX:03-5463-0359
E-Mail:ef-kikin@o.kaiyodai.ac.jp
URL:<https://www.kaiyodai.ac.jp/kikin/>



東京海洋大学基金